

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名	上下水道事業運営審議会事務(水道)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名 水野 孝春
	施策	9	住環境の充実		所属課	上下水道課	担当者名 谷 和浩
	基本事業	24	水の安定供給		所属班	庶務料金班	(内線) 1162
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市上下水道事業運営審議会条例 地方自治法第138条の4第3項
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	上下水道事業の円滑な運営を図るため、上下水道料金、受益者負担金(分担金)、その他市長が必要と認める事項について、市長の諮問に応じて審議をする。 地方自治法第138条の4第3項の規定に基づく、合志市上下水道事業運営審議会条例により設置した。 主な審議案件である上下水道料金の改定等については、国等の算定指針(要領)等により算定し、3~5年毎の改定を予定している。その時の状況により、年2~4回程度の開催を予定している。毎年度の事業内容及び計画について、執行部より説明を行う。 平成23年度より、水道事業も含めて審議できるように「上下水道事業運営審議会」とした。
【業務の流れ】	①委員の選任・委嘱状交付(改選時のみ)→②審議会開催通知の発送→③議案・資料の作成→④審議会の開催→⑤議案の審議(8月に諮問)→⑥質疑等への回答(3月に答申)→⑦報酬・費用弁償の支払い→⑧会議録の公表 ※改選時以外は、開催回数に応じ、②から⑧までの繰り返しとなる。
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・委員の選任(委嘱状交付) ・審議会の開催(2回) ・報酬・費用弁償の支払い ・会議録の公表	・審議会の開催(1回) ・報酬・費用弁償の支払い ・会議録の公表
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 審議会の開催回数	審議会の開催回数の減
イ: 議事案件数	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
上下水道事業運営審議会委員	→ ア: 上下水道事業運営審議会委員数 人
	イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
市長の諮問案件について審議し、的確な答申をする。	→ ア: 答申案件数 件
	イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
・意図である「諮問案件に対しての的確な答申」の件数を設定している。 ・23年度中に答申する予定なので、24年度は審議会の開催のみとなる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア	回			4	4	1	1	1	4	
	イ	件			3	3	2	2	2	2	
② 対象指標	ア	人			14	14	14	14	14	14	
	イ										
③ 成果指標	ア	件			1	1	1	0	0	1	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			178	157	83	83	83	166
		繰入金	千円								
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円			178	157	83	83	83	166	
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人			9	7	9	9	9	9	
	延べ業務時間	時間			500	149	250	250	250	500	
	(B) 人件費計	千円			2,060	601	1,030	1,030	1,030	2,060	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			2,238	758	1,113	1,113	1,113	2,226	

事務事業名	上下水道事業運営審議会事務（水道）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 23年度中に答申をいただけなかったため、24年度に答申を受ける予定。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 答申件数としては、諮問の件数と同数になるため、向上の余地はない。 審議会の運営としては、限られた時間での審議となるため、わかりやすい資料の作成や簡潔に説明するなど、常に審議が深まるように配慮する必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 23年度に「審議会等における統廃合ヒアリング」が実施され、当審議会は、「統廃合なし」となった。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審議会の委員数及び開催回数は、現在が必要最小限であり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 近隣の市町との情報共有によるデータ構築など、公共性を求められ、アウトソーシングなどはできない。 また、業務時間及び人員は、現在が必要最小限である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担の原則から公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 当審議会は、行政が事務局となり、住民代表などから意見聴取するものであり、役割分担は、適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

有効性について、審議内容のわかりやすい資料作成や説明に努め、審議が深まるように配慮する。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p> <p>現状維持とする。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						